

むささび

第22号

平成26年6月13日発行

JForest 北信州森林組合

〒383-0061 中野市大字壁田938-1

TEL:0269-38-0371 FAX:0269-23-5350

URL <http://www.jforest-kitashinshu.or.jp/>

E-mail musasabi@jforest-kitashinshu.or.jp



中国へ向けて船積み (直江津港)



森林組合PR事業を全県で行っています。

SBC ラジオ「モーニングワイドラジオ J」
毎週月曜日、朝 8 時 35 分から 40 分まで
「森と暮らそう」を放送しています。



今後の当組合放送予定 10月6日、2月9日

主な内容

- 新旧組合長就任退任あいさつ … 2
- 第13回通常総代会開催 …… 3
- 平成25年度事業・決算関係… 3~4
- 平成26年度事業計画 …… 5
- 新役員紹介 …… 5
- 配当金と賦課金 …… 6
- 手数料改定 …… 6
- ねんりんこどもまつり …… 7
- 放射能・放射線 …… 7
- きのこのおいしい食べ方 …… 8

◇新組合長就任あいさつ

北信州森林組合代表理事組合長 中山 稿一



利用ポイントの継続、そのほか多岐に亘り国産材利用拡大に向けた取り組みがなされています。長野県でも引き続き森林税の導入をするなど、森林利用者への理解度が高いのはありがたいことです。

木材利用についても、低質材が昨年より中国へ直江津港から輸出され、今年に入り単価も上昇傾向であります。バイオマス発電の原料として低質間伐材の需要先としての期待、チップによるボイラーの燃料も石油より安価で地球に優しい燃料として見直されつつあります。こうした木質資源も経済性が確保されることで、多面的機能も持続可能となるのではないのでしょうか。

当組合としては、このような現況の中にあつて高性能林業機械の導入、技術者の育成強化を図るとともに、作業路の延長整備を進め搬出間伐や、森林経営計画作成のための境界明確化事業の推進と資源調査を絡めた施業集約化事業に取り組んでいます。また、全国に先駆けて森林GISとGPS受信機やデジタル方位距離計などIT化を図り、組合が森林管理の中心となり明確な目的意識を持つて理想的な森林を目指し、組合員の付託に応えていきたいと思っております。

組合員の皆様には、今後ともご指導ご協力をお願い申し上げます。

此のたび役員改選により、私に組合長の指名がありました。職務の重大さを考えると身が引き締まる思いであります。副組合長には経験豊富な小根澤庄二氏が選任されました。役職員の協力をいただいで全力で取り組む決意であります。

さて、皆さんもご承知のとおり森林は木材資源の供給は勿論のこと、公益的機能や温暖化防止の観点から地球の掛け替えのない財産でもあります。今、国も2020年までに国産材50パーセント自給率を目指し、森林法改正、低層（3階以下）の公共の建築物を原則すべて木造化する方針を打ち出したり、木材

◇前組合長退任あいさつ

前組合長 高森 壽實夫



この度任期満了により、原修一郎元組合長急逝の後、お引き受けをいたしました北信州森林組合の組合長の職を辞させていただきます。

振り返りますと平成十七年から理事九一年半、地域の森林を守る理念のもと勤めさせていただきましたが、その責を果たし得たかどうかと思いつつ忸怩たるものがございますが、関係各位の温かい御指導御厚情により大過なく勤めさせていただきました。改めて感謝を申し上げます。

思い出としては、合併組合としての執行体制の整備、組合事務所の新築、高性能林業機械による林産事業の拡充、全国に先駆けての施業集約化システムの構築等数多くありますが、これらの事業の遂行も、皆様方のご協力があったからこそと重ねてお礼を申し上げる処でございます。

これからも、林業を取り巻く環境は依然として厳しいものがあると思いますが、新しい執行体制のもと、森林の持つ恩恵の享受と地域の美しい景観を守り育てるため、北信州森林組合が益々発展されますよう、又、組合員の皆様のご健勝で活躍されますことを念じます。退任のご挨拶といたします。

平成二十六年四月

第十三回通常総代会を開催しました。

今回は山ノ内町北志賀竜王スキーパーク内ホテルタガワで開催



平成二十六年四月二十六日(土)に山ノ内町のホテルタガワにおいて第十三回通常総代会を開催しました。総代総数二〇〇名のうち本人出席七一人、書面出席二一人、合計一八五人の出席で、総代会議長に山ノ内地区選出総代の齊藤敬治さんを選出して議事が行われ、上程された十議案全て原案どおり決定されました。配当額は出資金の二%で、配当にあたっては賦課金との差引を優先することになっております。(6ページに詳細説明の掲載があります。)

損益計算書

(単位 千円)

事業総利益		
収 益	395,300	
費 用	<u>286,902</u>	
事業総利益		108,398
事業管理費		
人件費	63,248	
旅費交通費	671	
事務費	3,972	
業務費	3,208	
諸税負担金	5,802	
施設費	30,353	
雑費	<u>909</u>	
事業管理費計		108,163
事業利益		235
事業外損益		2,058
経常利益		2,293
特別損益		836
税引前当期利益		3,129
法人税・住民税		<u>-729</u>
当期剰余金		2,400
前期繰越剰余金		18,497
当期末処分剰余金		<u>20,897</u>

※千円以下については四捨五入ですが、合計を合わせるために切捨、切上しております。

組合員の表彰を行いました

平成 25 年度決算では、税引前当期利益が 2,400 千円となり、前期繰越金を含めた当期末処分剰余金は 20,897 千円になりました。処分案では出資配当が 2 %となりました。

なお、議事終了後に組合員の表彰を行い、平成 25 年度の受託林産事業での素材生産量で団体の部第 1 位の(株)佐野共有林様、個人の部第 1 位の田中隆太様に感謝状と金一封が贈られました。



平成 25 年度受託林産事業素材生産量第 1 位

団体の部

山ノ内町 (株)佐野共有林 様 出材量 3,009m³

個人の部

飯山市 田中隆太 様 出材量 833m³

貸借対照表

平成26年2月28日現在 (単位 千円)

科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
資産の部				負債の部		純資産の部	
流動資産				流動負債		出資金	
現金	1,025	建物付属設備	393	受託販売預り金	121,372	払込済出資金	92,685
預金	349,991	一括償却資産	0	買掛金	176		
売掛金	2,728	土地	34,631	未払金	27,168	剰余金	
未収金	206,636	森林	0	未払法人税等	729	法定準備金	185,539
短期貸付金	2,000	有形固定資産合計	114,405	短期借入金	2,000	資本準備金	583
立替金	143,826			前受金	481	任意積立金	280,000
預託金	329	無形固定資産		事業前受金	1,717	当期末処分剰余金	
差入保証金	0	水利権	384	預り金	115,211	当期剰余金	2,400
仮払金	1,182	ソフトウェア	6,210	未払費用	110	前期繰越剰余金	18,497
前渡金	8,644	無形固定資産合計	6,594	仮受金	0		
貸倒引当金	▲1,413					剰余金合計	487,019
有価証券	0						
たな卸資産	4,260	外部出資		流動負債合計	268,964		
その他	1,312	系統出資金	10,250			純資産合計	579,704
流動資産合計	720,520	系統外出資金	1,135	固定負債			
固定資産		外部出資合計	11,385	農林漁業資金借入金	0		
有形固定資産		固定資産合計	132,384	退職給付引当金	12,535		
建物	50,803			固定負債合計	12,535		
構築物	8,311	繰延資産合計	8,299	負債合計	281,499		
機械装置	18,185					負債・純資産合計	861,203
車両運搬具	1,177	資産合計	861,203				
工器具備品	905						

総取扱高7億5千万円

木材生産量は民有林・国有林で1万9千㎡

平成二十五年度は、森林整備の国県市町村や林業公社などからの請負事業が大きく減少し5千3百万円程度となりました。請負事業の減少は想定していたもので、組合中期計画では事業の中心を組合員からの受託事業へと移行しており、二十五年度は転換期となりました。事業面では組合中期計画を上回る実績となっておりますが、除雪事業では降雪日が少なかったことから、収益が減となり税引前当期利益は計画対比四十六パーセントとなりました。

平成25年度 剰余金処分案

(単位 千円)

I 当期末処分剰余金	20,897
II 法定準備金戻入	169
II 剰余金処分額	
1. 法定準備金 (出資金額の2倍まで)	
2. 特別積立金 (損失補填積立金)	
3. 出資配当金 (出資金の2%)	1,854
	1,854
III 次期繰越剰余金	19,212

部門別損益

平成26年2月28日現在

収 益 (単位 千円)

部 門	金 額	備 考
指 導 部 門	6,610	経理金、受買収入、聖山集約化事業収入 他
販 売 部 門	53,717	林産立木売上、物産センター運営収入 他
森 林 整 備 部 門	141,061	森林整備収入、森林請負収入、治山工事収入 他
利 用	185,995	調査収入、利用料、利用事業収入、受託利用事業収入、 他
福 利 厚 生	1,180	家賃収入 共済保険手数料
購 買	6,702	事業物産売上 生活物産売上
金 融	35	事業資金貸付利息 林業改善資金取扱手数料
合 計	395,300	

費 用 (単位 千円)

部 門	金 額	備 考
指 導 部 門	14,709	総代会経費、庄屋発行費、聖山集約化事業費 他
販 売 部 門	42,778	林産立木購入費、物産センター運営経費 他
森 林 整 備 部 門	97,574	森林整備費、森林請負費、治山工事費 他
利 用	126,251	調査費、利用地設備維持費、利用事業費、受託利用事業費、 他
福 利 厚 生	201	施設管理費
購 買	5,377	事業物産売上原価 生活物産売上原価
金 融	12	事業資金借入利息
合 計	286,902	

受託販売取扱高	5,721 千円
受託林産取扱高	122,015 千円
受託森林整備取扱高	228,570 千円

林産体制の拡充

林産班4班集体が整い、5班集体へ

平成二十五年度に計画していましたが、高性能林業機械の配備として、九月に最新鋭の5t積のフォワードを導入しました。スイングヤードについては、生産の遅れで、二月の導入となりました。

この二台の配備により、長期リース二台を含め、十二台体制となり、林産班4班が自前の機械で稼働できるようになりました。

組合中期計画では、林産班5班集体を目指しており、今年度は4班+2名の1班での事業執行を行い、中期計画の最終年度二十八年には五班集体を確立する予定です。

建築用材の価格アップにも限度があり、山林所得を増やすために、低質材の利用を図っており、中国輸出もその一環であります。中国輸出が始まることから、チップ、オガ粉、バイオマスなどでの価格変動も見られるようですので、明るい兆しと考えております。



平成26年度部門別損益計画

収 益		(単位 千円)	
部 門	金 額	備 考	
指 導 部 門	5,890	訓練金、実費収入 他	
販 売 部 門	51,880	林産立木売上 物産センター運営収入 他	
森 林 整 備 部 門	137,000	森林整備収入、森林請負収入、 治山工事収入 他	
利 用	210,550	調査収入、利用料、利用事業収入、 受託利用事業収入、他	
福 利 厚 生	1,468	家賃収入 共済保険手数料	
購 買	9,310	事業物産売上 生活物産売上	
金 融	37	事業資金貸付利息 林業改善資金取扱手数料	
合 計	416,135		

費 用		(単位 千円)	
部 門	金 額	備 考	
指 導 部 門	11,700	総代会経費、支所人件費、広報 発行費 他	
販 売 部 門	38,950	林産立木購入費、 物産センター運営経費 他	
森 林 整 備 部 門	98,000	森林整備費、森林請負費、治山 工事費 他	
利 用	131,500	調査費、利用施設維持費、利用 事業費、受託利用事業費、他	
福 利 厚 生	500	施設管理費	
購 買	7,950	事業物産売上原価 生活物産売上原価	
金 融	30	事業資金借入利息	
合 計	288,630		

平成二十六年事業計画
◇ 木材出荷体制の整備を進める ◇

平成二十六年度も組合員からの受託事業が事業の中心となります。木材生産では24,000㎡を計画しており、木材販売においては、低質材の取引の効率化のため、中間土場にトラックスケールなどを整備して出荷体制の整備を進めます。

境界明確
化事業につ
いては、順
次計画に
沿って進め
ておりま
す。
組合全域
をカバーす
る事が最
終目標です

受託販売取扱高	1,000
受託林産取扱高	180,000
受託森林整備取扱高	250,000

平成26年度損益計画

		(単位 千円)	
事業	利益	益	用
事業	416,135		
費		288,630	
事業	127,505		
管理	111,690		
費		15,815	
事業	15,815		
外	500		
損		16,315	
益			
特	0		
別		16,315	
損			
益		-749	
税		15,566	
引		18,497	
前		34,063	
当			
期			
純			
利			
益			
税			
引			
前			
当			
期			
余			
金			
額			
当			
期			
未			
処			
分			
剩			
余			
金			
額			

が、全域のカバーまでには、現状の進捗では二十年程度かかる見込みです。計画では整備の必要な人工林地域を優先して実施しております。
平成二十六年年度の取扱計画は、収益4億1600万円、受託販売1000万円、受託林産1億8000万円、受託森林整備2億5000万円で合計8億4700万円を計画しています。

新役員が選任されました。

四月二十六日の通常総代会で理事十八名、監事三名が選任され、四月二十七日の理事会および監事会で代表理事組合長および代表監事はか役職が決定されました。任期は平成二十九年の通常総代会終了までです。役職氏名は次のとおりです。

なお、今期から組合長が常勤となりました。

平成二十六年新役員

代表理事組合長	中山稿一	(山ノ内町)
副組合長理事	小根澤庄一	(中野市)
代表監事	山本明秀	(山ノ内町)
総務委員長	石川幹雄	(飯山市)
業務委員長	小山孝治	(木島平村)
総務副委員長	小林裕正	(山ノ内町)
業務副委員長	嶋田晴男	(中野市)
総務委員	竹内義明	(中野市)
総務委員	宮澤章榮	(飯山市)
総務委員	掛川得一	(山ノ内町)
総務委員	湯本眞司	(木島平村)
総務委員	平田幸男	(野沢温泉村)
総務委員	藤田忠良	(中野市豊田)
業務委員	清水侃	(飯山市)
業務委員	藤澤敏孝	(飯山市)
業務委員	小淵喜由	(山ノ内町)
業務委員	富井繁雄	(野沢温泉村)
業務委員	片塩善久	(野沢温泉村)
業務委員	高野福一郎	(中野市豊田)
業務委員	関保典	(飯山市)
監事	日臺正博	(木島平村)

総代が改選されました。

四月十日告示、四月二十一日投票の日程で総代選挙を行いました。中野地区二十二名、飯山地区七十一名、山ノ内地区三十八名、木島平地区二十七名、野沢温泉地区十九名、中野市豊田地区二十二名の定員に対して各地区とも同数の推薦立候補で無投票となり全員が当選になりました。

任期は平成二十六年五月十一日から平成二十九年五月十日までの三年間です。よろしく願いたします。

賦課金納入通知書

No.	組 合 員 氏 名	
020892	中野 太郎 様	
預 金 者 名	支所No.	預 金 口 座 No.
未納繰越賦課金	0円	
当期賦課金	1,030円	
配当金(税引後)	398円	
差引納入金額	632円	
但し、面積割	10aあたり	20円
平均割	1人	150円

北信州森林組合定款 2 1 条の規定に基づき
平成26年04月26日 第13回総代会の決議により、上記金額を平成26年08月31日までに納入してください。
なお、口座振替の方はご指定の口座より引き落としさせていただきます。

平成26年05月13日

北信州森林組合
代表理事組合長 中山 稿一

賦課金は配当金を差引いた額になります。

総代会で出資配当として出資金の2%の配当が決定されました。
また、平成二十六年賦課金については、平均割一五〇円、面積割一〇〇円あたり二〇円とし、一〇〇円未満の端数は一〇〇円単位に切上げると決定されました。
出資配当については、賦課金からの差引を優先して行います。
7月上旬には配当金の計算書と賦課金の納付書を皆さんに送付する予定です。
なお、今年度の賦課金納付期限は八月三十一日までと決定されており、
賦課金納入通知書は次のようになります。

配当金と賦課金について

7月上旬の送付を予定しています。

総代会で手数料の改定が決定されました。

— 林産手数料と販売手数料が改定されました。5月1日から適用になります。 —

改正後			現 行		
種 目	利 用 料	備 考	種 目	利 用 料	備 考
林産事業	売上額の5%以内 ただし販売材積 1㎡あたり価格 8,000円以下のものについては 1㎡あたり400円とする。	員外利用 は10%増	林産事業	売上額の5%以内	員外利用 は10%増
販売事業	売上額の5%以内 ただし販売材積 1㎡あたり価格 8,000円以下のものについては 1㎡あたり400円とする。		販売事業	売上額の5%以内	

現行の規約の規定は、市売りを基本にしています。木材市場での市売価格が手数料の基礎価格となり、市売価格から市売手数料・極積料（木材市場）、林産手数料・トラック運賃（組合）を差引いた金額が、森林所有者への還元額になります。

現在、B材・C材を有利販売するため、多くを県外へ出荷しております。県外への出荷にあたっては、トラック事故での荷主責任を回避するため、山土場渡しとしています。山土場渡しの場合、現行の規定ではその販売額が手数料の基礎価格となりますので、トラック運賃などを差引いた額が基礎価格となり、林産手数料は大幅に少なくなります。

組合としてB材、C材といった欠点材をより有利に販売し、価格の向上を実現して、森林所有者への還元に反映しています。しかし、現行規定では組合収益には、反映されない状況となっていますので、手数料の改定を行うものです。



村の駅ねんりんで「子どもまつり」開催しました!

… 好天に恵まれ、雪山のそり遊びでにぎわう …

五月三日、四日、五日、六日の四日間、野沢温泉村の村の駅「ねんりん」で恒例の子供祭りが開催されました。当日は、わた菓子、たご焼き、やきとりなどの屋台のほか、地元の物産品の販売などが行われました。

今年三月に降雪が多かったこともあり、そり遊び用に貯めておいた雪山も大きく、子供たちが、そり遊びをたいへん楽しんでいました。

また、五日の子供の日には、SBCラジオでラジオカーの中継があり、レポーターの待井玲香さんにレポートしていただきました。

四日間多くの皆様に来ていただき、たいへんありがとうございました。今年も季節に合わせてイベントを計画していますので、多くの皆様のお越しをお待ちしております。



イベント予定

山菜まつり

6月22日

*朝採りタケノコ
有り

夏まつり

8月14・15日

*やきとり、焼き
モロコシ等

秋の収穫祭

10月19日

*なめこ汁無料、
季節農林産物等

ねんりん感謝祭

11月23日

*野沢温泉産野沢
菜販売ほか

放射能・放射線について

県のモニタリング検査で、長野市で採取されたコシアブラから食品衛生法上の基準値を超える放射性物質が検出され、安全確保を図るため県から自粛の要請などがありました。

人体への影響が気になるのですが、放射能・放射線についてあらためて知っておきましょう。

日常生活で受ける放射線は次の図のようになっています。報道発表の数値と比較してみましょう。

ベクレル [Bq (=1/s) : ベクレル]

放射線核種 (物質) が1秒間に1個の割合で崩壊しているとき、放射能の強さをベクレルという。

1Bq/kg ⇒ 1kgの物体から1秒あたり1つの原子核が崩壊

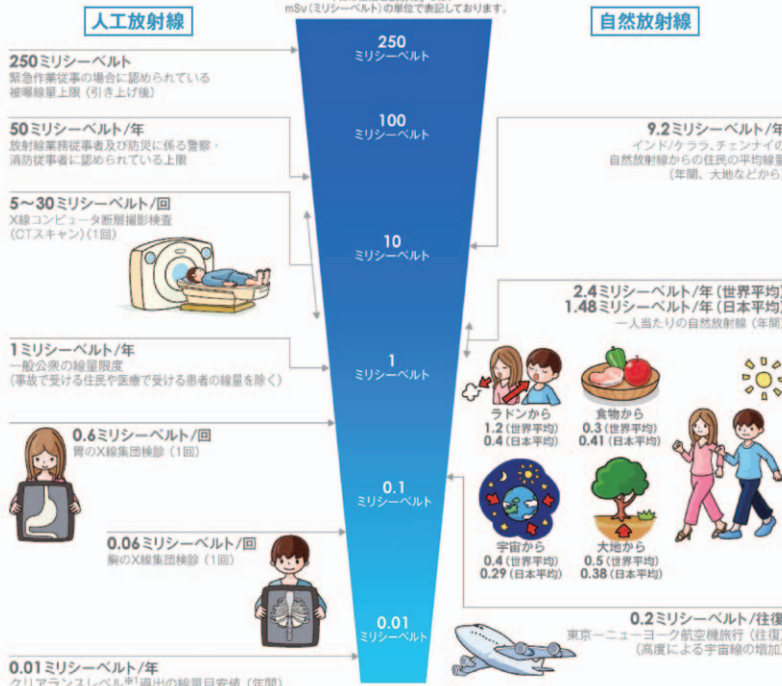
実効線量 [Sv : シーベルト]

違った種類の放射線の人体への影響を統一的に表す単位。(生物学的影響の強さを加味した吸収単位)

△ Bq/kg の食品を ■ gほど〇日間食べたときの被ばく量は★ Sv

日常生活と放射線

「日常生活と放射線」では、mSv (ミリシーベルト) の単位で表記しております。



ベクレル (Bq) とシーベルト (Sv) の換算例

① 100Bq / kg の放射性セシウム 137 が検出された飲食物を1kg 食べた場合の人体への影響の大きさ $100 \times 1.3 \times 10^{-5} = 0.0013Sv$

② 100Bq / kg の放射性セシウム 134 が検出された飲食物を1kg 食べた場合の人体への影響の大きさ $100 \times 1.9 \times 10^{-5} = 0.0019Sv$

きのこのおいしい食べ方ご存知ですか！

旨味成分の量は調理方法で左右されます。

……みなさんも試してみてください。……

きのこの味を左右するのは、旨味や香り成分の種類と量及び菌触りです。シイタケなどはグアニル酸を含み、グアニル酸は昆布などのグルタミン酸、鰹節などのイノシン酸と並ぶ三大旨味成分の一つです。

グアニル酸はグルタミン酸と混ぜると数十倍に旨味が強くなることが知られており、シイタケと昆布で出汁を取ると非常においしい理由はここにあります。

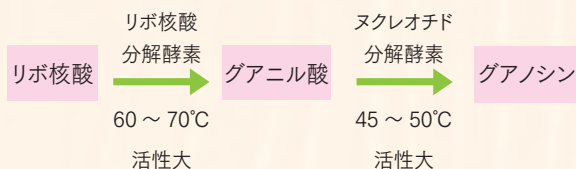
グアニル酸の量は、グアニル酸の元であるリボ核酸を分解してグアニル酸を生成する酵素及びグアニル酸を分解する酵素とのバランスによって決まります。グアニル酸生成に関与する酵素は、比較的热量に安定で60〜70度で活性が高く、一方、グアニル酸を分解する酵素は60度では大部分が壊れます。したがって、グアニル酸の量を増やすためには調理時に60〜70度の温度を与えてやるのが大切です。また、乾シイタケの水戻しでは、旨味成分の元であるリボ核酸を減少させないように冷蔵庫のなかで必要最小限行うのが基本



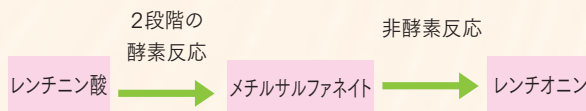
です。この他、遊離アミノ酸も水戻し時にタンパク質が分解されて増加しますが、比較的温度が高い条件で長時間水戻しをすると苦みのある疎水性アミノ酸の割合が増える傾向があり、注意する必要があります。加熱調理時はアミノ酸の量はほとんど変化しません。香りが強いきのこの王様はマツタケで、香り成分は1-オクテノールや桂皮酸メチルで

す。乾シイタケも香りが強く、その成分はレンチオニンです。レンチオニンは生シイタケを乾燥するときの加温や乾シイタケの水戻し時に、2種類の酵素が関与して生成されます。なお、調理時に二〇分程度の煮沸によってレンチオニンの大部分は消失しますので、香りを残すためには煮沸時間を短くします。シイタケの食感に関する調査では、傘肉が厚いものの方が薄いものよりおいしく感じる人が多いようです。

酵素作用によるグアニル酸の生成と分解



レンチニン酸からのレンチオニンの生成



※文章及び図は日本特用林産振興会ホームページから転載

4月1日付人事異動

異動

総務課飯山支所担当

主幹 小出 幸子

内部採用

(施業技術員から)

業務課集約化担当

技師 関 真一

(パート職から)

総務課会計係

主事 内藤 香子

総務課総務係

主事 荒井 和恵

新規採用

総務課会計係

書記 太田 未来

編集後記

今年も年3回の発行を計画しております。なるべく時間差がないように心がけております。皆様に森林組合のことを知っていただき、組合についてご理解いただき、事業等へご協力いただけるよう発信してまいりますので、よろしくお願いいたします。

また、ホームページについてもリアルタイムで更新するようにしておりますので、閲覧いただきますようお願いいたします。

本所・(中野・豊田担当) 〒383-0061 中野市大字壁田 938 番地 1
TEL 0269-38-0371(代) FAX 0269-23-5350
利用事業室・飯山支所 〒389-2255 飯山市大字静間 383 番地 14
TEL 0269-62-8111 FAX 0269-62-8111
山ノ内支所 〒381-0405 山ノ内町大字夜間瀬 6819-1
TEL 0269-33-8665 FAX 0269-33-8678
木島平支所 〒389-2302 木島平村大字往郷 973-1
TEL 0269-82-3123 FAX 0269-82-3123
野沢温泉支所 〒389-2592 野沢温泉村大字豊郷 9817
TEL 0269-67-0454 FAX 0269-85-3803
ねんりん 〒389-2613 野沢温泉村大字虫生 2383-1
TEL 0269-85-4441 FAX 0269-85-4441
直売所 TEL 0269-85-4141 FAX 0269-85-4141